

オンライン講座・自分の時間で気軽に参加しませんか？

～すべての人の人権が尊重される社会を目指して～

最近聞く「アンコンシャス・バイアス」って何？

視聴は無料です。視聴にはお申し込みが必要です。

(字幕あり・約40分)

視聴期間 令和5年1月10日(火)～1月24日(火)

申込期間 令和4年12月5日(月)～

申込人数 申込順300名(定員になり次第受付を終了)

申込先 (一社)高槻市人権まちづくり協会

申込方法 メール:jinmati-h@takatsuki-jm.jp.org

ホームページ <https://www.takatsuki-jinmati.org>

FAX:072(647)7233

名前、メールアドレスを明記の上、上記の方法でお申込みください。折り返し、パスコードを送ります。

*視聴後のアンケートにご協力をお願いします。

お問合せ先 (一社)高槻市人権まちづくり協会 ☎072(647)7825

月～金曜日(朝8時45分～夕17時15分:土、日、祝日のぞく)

講師



(一社)アンコンシャスバイアス研究所

理事 杉本美晴さん

保育士は女性。パイロットは男性。子どもが熱を出せば、お母さんが仕事を休むものだ等、知らず知らずのうちに、性別によって、生き方や役割が決まっているとどこか無意識のうちに思っていることはないでしょうか？

私たちは、過去の経験や見聞きしてきたことなどに影響をうけています。何かをみたり、聞いたりしたときに、無意識のうちに「きっとこうだ！」と咄嗟に思うことをアンコンシャス・バイアスと言います。日本語では、無意識の思い込み等とも表現されています。アンコンシャス・バイアスは、日常にあふれていて、誰にでもあるものです。ただ、このアンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、悪意はなくても、相手の人権を傷つけてしまっていることがあるかもしれません。

大切なことは、「普通」「...べき」といった価値観は、一人ひとり違うかもしれない思いを寄せることです。無意識の思い込みは、自分の生き方、働き方などへも影響を与えているかもしれません。自分に対する「アンコンシャス・バイアス」に気づくことは、モノの見方が変わったり、一歩踏み出す勇気ももてたりと、様々な変化がおとずれます。「どうせ、ムリ」から、「次はできるかも!」へ!

共催 高槻市・人権啓発活動大阪地域ネットワーク協議会
企画・運営、申込先 (一社)高槻市人権まちづくり協会

